

貝を食べる貝



左の写真はツメタガイとツメタガイの卵のかたまり（砂茶碗）です。ツメタガイの仲間はアサリなどの二枚貝（にまいがい）の殻（から）に小さな穴をあけて、そこから貝の中身を食べます。

図 2-4-14 (2)

干潟の生き物



写真のカニはコメツキガニです。コメツキガニやチゴガニは、潮（しお）が引くと巣穴から出てきて、砂についたエサを食べ、きれいにした砂をだんごにして巣穴のまわりに並べます。干潟に行ったら観察してみましょう。

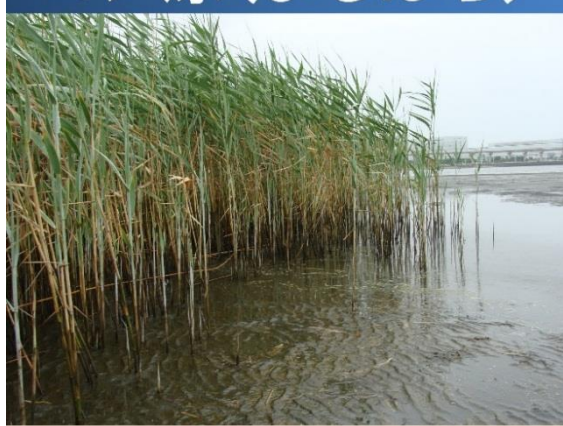
クイズ解説 (2)

サンゴとオニヒトデ



南の海にはサンゴ礁がひろがっています。でも、最近では、サンゴを食べるオニヒトデが増えて、サンゴが減ってしまっているところがあります。毒があるので、オニヒトデを見つけても、ぜったいにさわってはいけません。

ヨシ原(よしはら)



川や湖などに生えている草は、“ヨシ”という植物です。たくさん生えている場所をヨシ原（＝アシ原）といいます。生き物がくんだり、水をきれいにすることはあります。

アユの一生



秋に川で生まれたアユは、海に下って次の年の春から夏の初めに川を上ります。川で石に着いた藻類をたくさん食べて成長し、秋に産卵してその一生を終えます。産卵や川を登る時期は、暖かい地域ほど早い傾向があります。

アユの匂い



野生のアユはスイカのような甘い匂いがします。この匂いのもと、アユの食べているコケです。アユが手に入ったら、匂いを確かめてみてください。

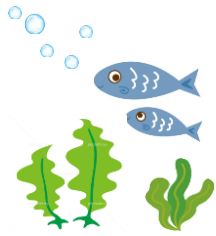
図 2-4-14 (3) クイズ解説 (3)



いくつ解けるかな？

小・中・高・大学・大人		お名前			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6
Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	

クイズの感想を聞かせてね！



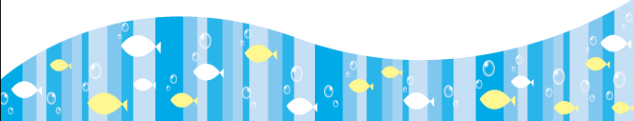


図 2-4-15 解答用紙